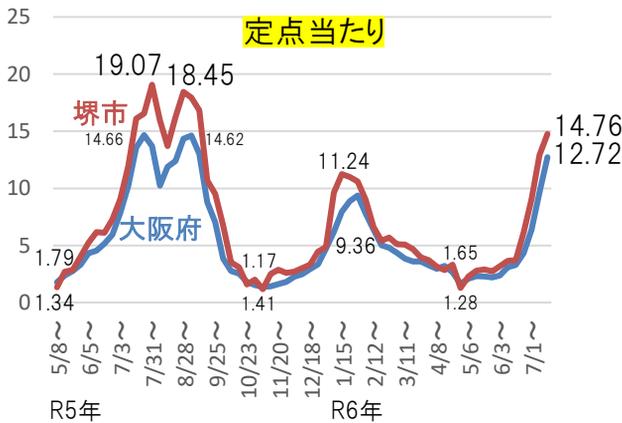


新・こどもと健康

No.91

2024.8.1

新型コロナウイルス感染症第11波流行中



新型コロナウイルス感染症の定点報告数

大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	
R5.5/8~	515	39	8/28~	4,361	535	12/18~	893	96
5/15~	686	78	9/4~	4,458	520	12/25~	1,026	129
5/22~	797	82	9/11~	3,961	488	R6.1/1~	1,444	141
5/29~	968	117	9/18~	2,677	310	1/8~	1,891	279
6/5~	1,256	152	9/25~	2,148	276	1/15~	2,436	326
6/12~	1,324	179	10/2~	1,179	196	1/22~	2,718	319
6/19~	1,506	177	10/9~	849	102	1/29~	2,863	307
6/26~	1,754	211	10/16~	771	90	2/5~	2,400	261
7/3~	2,330	263	10/23~	555	46	2/12~	1,958	192
7/10~	3,036	346	10/30~	471	58	2/19~	1,540	157
7/17~	4,028	467	11/6~	414	34	2/26~	1,470	165
7/24~	4,399	480	11/13~	429	73	3/4~	1,333	148
7/31~	4,093	534	11/20~	493	83	3/11~	1,181	147
8/7~	3,078	446	11/27~	558	75	3/18~	1,101	136
8/14~	3,576	384	12/4~	695	78	3/25~	1,106	115
8/21~	3,744	455	12/11~	763	87	4/1~	992	108

定点数：大阪府で約306、堺市で約29医療機関

新型コロナウイルスの定点報告は第10波が終わって令和6年4月29日からの週に大阪府の1.65、堺市の1.28が最低でしたが、じりじりと増えていき、6月末から加速度的に悪化してきました。第11波と言っていいと思います。7月15日からの週で大阪府は12.72、堺市は14.76でした。6月24日の週から大阪府のブロック別で堺市はワーストかワースト2が続いています。

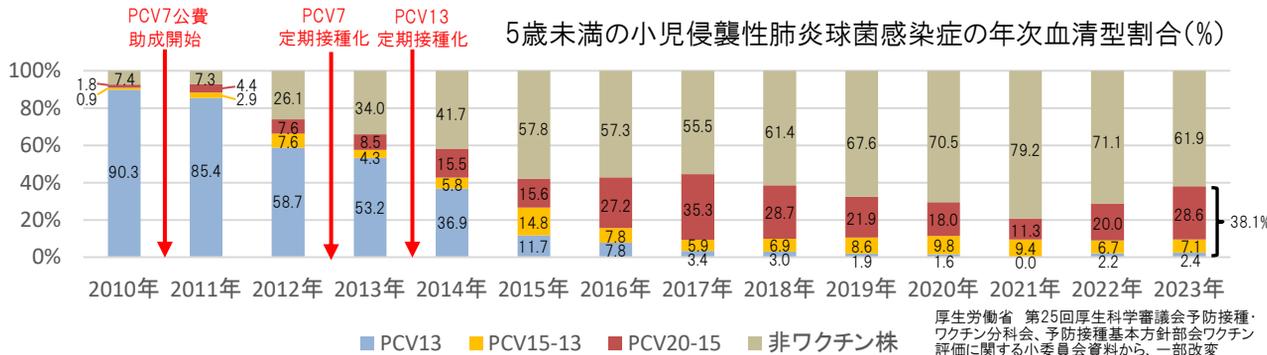
出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症 発生状況2023年 第19週～2024年 第29週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率			
R6.2/5~	38	3	8%	4/8~	9	1	11%	6/3~	7	0	0%
2/12~	14	2	14%	4/15~	7	0	0%	6/10~	5	1	20%
2/19~	21	1	5%	4/22~	6	1	17%	6/17~	2	0	0%
2/26~	21	1	5%	4/29~	5	1	20%	6/24~	6	1	17%
3/4~	21	1	5%	5/6~	7	0	0%	7/1~	3	0	0%
3/11~	21	1	5%	5/13~	8	1	13%	7/8~	4	0	0%
3/18~	21	1	5%	5/20~	6	1	17%	7/15~	12	3	25%
3/25~	13	1	8%	5/27~	7	0	0%	7/22~	12	3	25%
4/1~	8	0	0%								

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)÷(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。6月1日から30日で2人の陽性の方がいました。7月15日から21日の週と7月22日から28日の週で各3人の陽性の方がいました。しばらく増えていくであろうと思われます。

小児用20価肺炎球菌ワクチン(プレベナー20®)が発売されます ~2025年4月から? 定期接種に採用の方向性~



- 2011年 多くの自治体で肺炎球菌ワクチンの公費助成が始まる
- 2013年4月 小児の定期接種にPCV7を追加
- 2013年11月 PCV7をPCV13に変更
- 2024年4月 定期の予防接種に用いるワクチンにPCV15を追加
- 2025年4月? 定期の予防接種に用いるワクチンにPCV20を追加?

小児侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)全体での年間の累積罹患は肺炎球菌ワクチン定期接種化前(2008~2010年)と比較して8割以上の減少を維持しているものの、2023年に報告されたIPD症例においては、PCV13でカバーする血清型の割合は2.4%、PCV15でカバーする血清型の割合は2.4+7.1=9.5%まで低下していました。PCV20なら38.1%対応するとして、近々定期接種に採用される方向性のようです。

2023年における髄膜炎と非髄膜炎の年間の累積罹患(5歳未満人口10万人当たり)

	2008~2010年の平均との比較
髄膜炎	0.84 < 70%減少 >
非髄膜炎感染症	3.87 < 83%減少 >
小児侵襲性肺炎球菌感染症(合計)	4.71 < 81%減少 >

厚生労働省 第25回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会、予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会資料から、一部改変

COVID-19治療用キラーT細胞製剤の作製に初めて成功 ～新興ウイルス感染症アウトブレイクへの対応も視野～

京都大学医生物学研究所(河本宏教授の研究室)、藤田医科大学、大阪大学微生物病研究所、国立成育医療研究センターの共同研究チームは、多能性幹細胞であるES(胚性幹)細胞を材料としたCOVID-19治療用キラーT細胞製剤の作製に成功し、特許出願をしたと報道されました。今回は拒絶されにくいように処理をしたES細胞にキラーT細胞を作らせたあと、レトロウイルスを用いて新型コロナウイルス由来蛋白を感知できるT細胞レセプターを発現できるようにしており、今後、臨床試験が計画されています。同じ技術が血液がんにも使われようとしています。治療を受ける方に合わせないといけない部分がありますが、凍結保存できる点、ローコストである点、未知のウイルスでもかなり迅速に対応できる点があり、実用化が進めば、感染症の治療が大きく変わるかもしれません。

出典: 京都大学HP『COVID-19治療用多能性幹細胞由来T細胞製剤の作成に初めて成功—特許出願を完了し臨床試験に向けた開発が本格化— 詳しい内容について(公開日2024年7月30日)』、日本経済新聞HP『キラーT細胞でコロナ治療 京大が薬候補、ES細胞で作成(2024年7月30日)』

マイコプラズマ肺炎報告が2015-2016年流行時のピークに近接



マイコプラズマ肺炎は大阪府で2022年12月末現在17病院・センターの基幹定点だけが報告しており、全数把握している訳ではありませんが、1か月前よりもさらに悪化してきており、前回2015-2016年流行時のピークに近くなってきました。

出典: 大阪府感染症情報センターHP『定点把握疾患 疾患別過去データ比較 類型:マイコプラズマ肺炎 10年間の推移』

令和6年度からの高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種

令和6年度から堺市在住で接種日に満65歳の方と60歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に一定の障害を持つ方だけが定期接種の対象になっています。堺市独自の66歳以上の方の任意接種は令和6年度が最終年度となります。出典: 堺感対第5427号『令和6年度の定期予防接種について(情報提供)(令和6年2月26日)』

2024年4月から五種混合ワクチン(ヒブ+四種混合)が流通しています(新規の方のみ)

2024年4月から肺炎球菌ワクチンは13価プレベナーから15価バクニューバンスに

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

2023年4月から9価子宮頸がんワクチンを定期接種で使用可能に

当科の診療時間帯

2024年8月の診療時間帯(予告なく変更する場合があります)

9:00～9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
9:30～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。他の方の受診機会を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

8月・担当医の変更

10日(土) 片桐 → 赤澤
20日(火) 赤澤 → 片桐
31日(土) 片桐 → 赤澤

当科の夏季休診日 11日(日)～15日(木) まで休診とさせていただきます。

堺市子ども急病診療センターのお盆体制	受付時間	10日(土)	11日(日)	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)
	9:30～11:30	×	○	○	×	×	×
12:45～16:30	×	○	○	○	○	○	
17:30～翌朝4:30	○	○	○	○	○	○	

堺市子ども急病診療センターはお盆期間中の13日(火)・14日(水)・15日(木)の午前に診療はありません。

出典: 堺市子ども急病診療センターHP『お盆(8月13日～8月15日)診療のご案内』